愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	子どもの理解と援助		
担当者(Instructors)	島崎 佳子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握する。子どもを理解するための保育者の在り方・援助する上での考え方を習得する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	保育現場での具体的な事象をもとに、自分自身の心の動きを感じることができるようなグループワークを行っていく。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	子ども理解の意義１	「他者を理解する」ということはどういうことをいうのか。ワークの中で感じる。	□
第2回	子ども理解の意義２	子どもの見えている世界を体験してみよう。どのように見えているか、その上で大人はどうあるべきかを考える。	□
第3回	子どものを理解する視点１	０歳児の発達を知る。	□
第4回	子どもを理解する視点２	乳児期の発達を知る。	□
第5回	子どもを理解する視点３	幼児期の発達を知る。	□
第6回	子どもを理解する方法１	子どもを「みる」ということ、じぶんにどんな心の動きがあるのかを体験する。自分を表現することの大切さを知る。	□
第7回	子どもを理解する方法２	保育集団として子どもを支えることの大切さ、情報を共有するために配慮することを理解する。	□
第8回	子ども理解に基づく援助のあり方	発達の支援（援助）をしていくということはどういうことなのか、具体事例をもとに援助のあり方の多様性を学ぶ。	□
第9回			□
第10回			□
第11回			□
第12回			□
第13回			□
第14回			□
第15回			□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業の振り返り・演習の中で感じたことを自分の言葉で表現する（レポートする）。２時間程度 授業の中で次回のテーマを示すので、振り返りをもとにレポートする。２時間程度

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出した課題は、授業の中で引用していきます。レポートは、添削をして返却します。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	自分が思ったこと、感じたことを相手に伝わるように表現することができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	興味を持ったことを発信する。グループワークに積極的に参加する。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内容に応じた課題を出します。授業への参加態度等も反映します。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		